



栂池高原スキー場

栂池観光開発株式会社 索道安全報告書

平成29（2017）年度版



この安全報告書は、当社における索道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。

お読みいただき、ご意見・感想をお寄せください

1 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解誠にありがとうございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見をお待ちしております。

なお当社所有の索道施設は次の4本です。

拇池中央トリプルリフト

拇池第1ペアリフト

チャンピオンクワッドリフト

丸山第1クワッドリフト

拇池観光開発株式会社 代表取締役社長 栗田 優

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および運転取扱細則、整備細則をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めます。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全かつ適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

平成29年度の安全目標は次のとおりです。

区 分	項 目	内 容
定量的な 目 標	施設の不具合による事故 (脱索・搬器衝突等)	乗客の死者・重傷者を伴う事故を 発生させない
	人身障害事故	事故を発生させない
	運転阻害事故	事故を発生させない
	労働災害事故	係員の死者・重傷者を伴う事故を 発生させない

3 事故等の発生状況とその再発防止策

(1) 索道人身障害事故

平成27年度において人身障害事故は発生しておりません。
社内では引き続き安全の確保について確認をいたしました。

(2) 災害(地震・暴風雪・なだれ等)

平成28年度において災害による運行停止はありません。
なお、安全確保のため次のとおり運休いたしました。

- ・ 強風のため索道4本 延べ12時間運行を停止しました。
- ・ 雷雲の接近のための運休はありません。

安全確保のための運休についてはお客様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) インシデント(事故に至る恐れのある事態)

(4) 平成28年度、インシデント等はありませんでした。

(5) 行政指導等

平成25年度、国土交通省の保安監査がありました。業務改善命令・指導等はありませんでした。

4 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当社は、輸送やお客様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設および取り扱いについての安全教育を実施しております。また万一の事故のために従業員全員に救助方法や補助原動機の取り扱いの指導を行いました。今回初の試みで北アルプス広域消防の協力で従業員全員普通救命の資格を取りました。

(2) 緊急時対応訓練

また平成28年度は北アルプス広域消防と連携し、大北地区合同で救助訓練を実施いたしました。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%をめどに施設の修繕費に充てています。

平成29年度の主な整備は次のとおりです。

・中央トリプル

速度同調用押送装置 V ベルト交換
各チェーン張り調整
動力取り出し偏向輪交換

・チャンピオンクウッド

搬器グリップオーバーホール43台

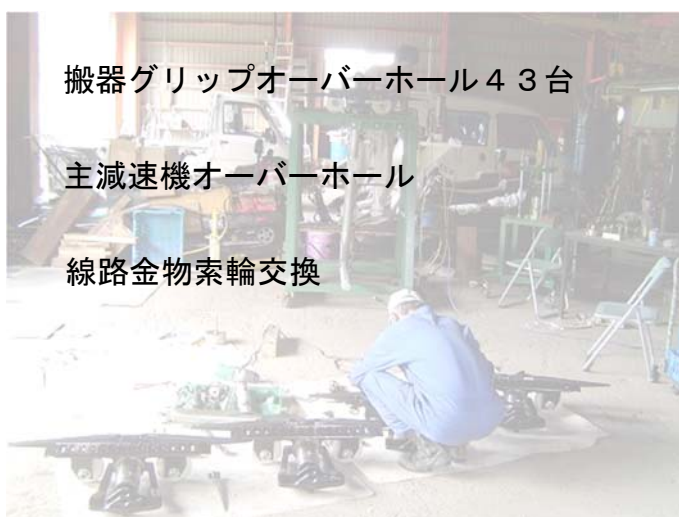
・丸山第一クウッド

主減速機オーバーホール

・柵池第1ペア

線路金物索輪交換

各リフト振動検査

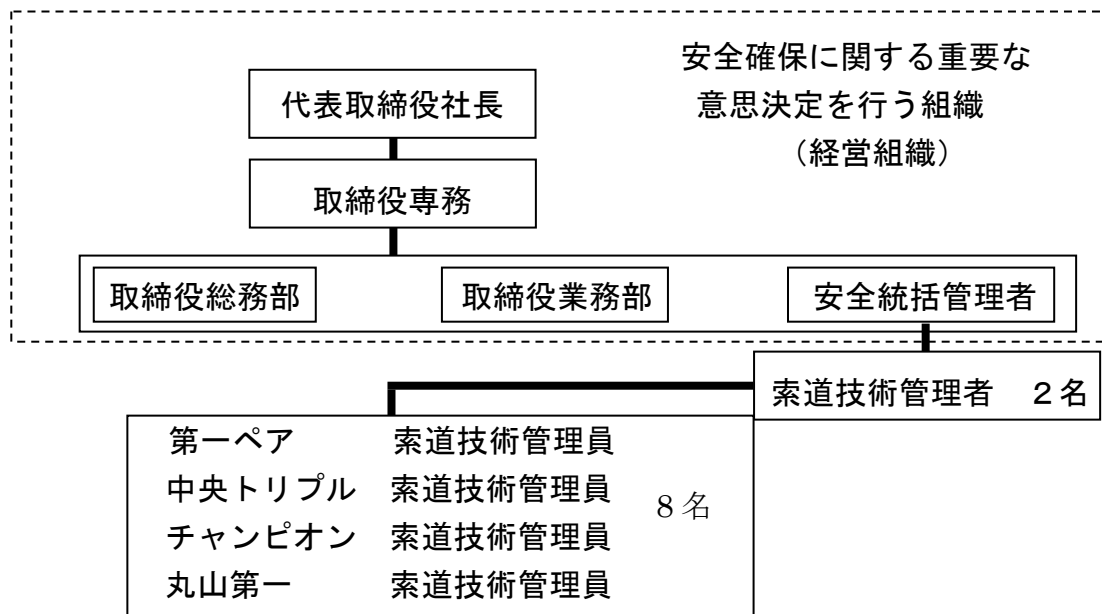


5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また平成17年度よりヒヤリ・ハット報告制度を導入し、社長以下全員が問題を共有し、認識して日々の業務にフィードバックさせています。

当社の組織図は次のとおりです。



安全統括管理者：索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する

索道技術管理者：索道全般の運行の管理、索道施設の保守管理その他係員の技術上および安全上の教育に関する業務を管理する

索道技術管理員：索道技術管理者の指揮の下、担当索道の運行を管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する

6 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 当社は、お客様のご期待に応えられるよう努めております。

皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め信頼される索道を作るために役立てています。

お客様からの声をカタチにした事例をご紹介します。



ペアリフトって乗るときにすごく早くって
とても怖いわ！！



第1ペアリフトは2m/sで運行しておりましたが
同様のご意見が多かったため、1.7m/sに変更しました。
安心してご利用ください。

(2) 当社からお客様へのお願い

1. リフトの乗り方に慣れないお客様は、係員にその事を申し出てください。係りがお手伝いさせていただきます。
2. 柵池は中部山岳国立公園内にあります。空き缶・タバコその他携行品をリフトから投げ捨てないでください。生態系に悪影響を及ぼします。
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らしたりすることは重大な事故につながり、ご自身はもとより他のお客様を危険にさらすことになります。
4. 衣服・携行品・髪の毛などが搬器に巻きつかないようにしてください。思わぬ結果になることがあります。
5. 安全輸送の確保のため係がお客様に指示することがありますが、なにとぞご理解ください。
- 6.

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への取り組みに対するご意見をお待ちしております。専用入力フォームからメール送信をお願いいたします。

なお、安全報告書以外についてのご意見・ご感想などは下記連絡先へお願いいたします。

柵池観光開発株式会社

TEL 0261-83-2034

FAX 0261-83-2076